

令和6年度 第1回

山梨県考古博物館協議会資料

(次 第)

1 開 会

2 委員紹介

3 会長、副会長の選任

4 議 事

(1) 令和5年度考古博物館事業実績について

(2) 令和6年度考古博物館経過・予定事業について

(3) 考古博物館利用状況について

(4) その他

5 閉 会

令和6年11月21日(木)

山梨県立考古博物館

資料目次

(1) 令和5年度 考古博物館事業実績について

1	展示活動	1～	2
2	学習会・講座など	2～	5
3	イベント	5～	6
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	6～	7
5	古代衣装貸出	7	
6	ボランティアガイドの実施	7	

(2) 令和6年度 考古博物館事業経過・予定について

1	展示活動	8～	9
2	学習会・講座など	9～	11
3	イベント	11～	12
4	学芸員実習・職場体験・インターンシップ	12	
5	古代衣装貸出	12	
6	ボランティアガイドの実施	12	

(3) 考古博物館の利用状況について

1	利用者状況	13	
2	常設展観覧者数過年度比較	14	
3	学校関係利用状況	15	
4	外国人利用者数	17	

◇	山梨県附属機関の設置に関する条例等（抜粋）	18～	21
---	-----------------------	-----	----

(1) 令和5年度 考古博物館事業実績について

1 展示活動

(1) 第40回特別展「星降る中部高地の縄文世界

－黒曜石ネットワークによる物流と人流－

会 期： 7月 8日(土)～ 9月 3日(日) 開催日数51日

会 場：当館

入館者：6,909人

概 要： 平成30年度に「星降る中部高地の縄文世界－数千年を遡る黒曜石鉱山と縄文人に出会う旅－」(長野県と共同申請)が日本遺産に認定され、山梨・長野両県における黒曜石を通じた物流と交流によって培われた我が国の縄文文化を代表する遺跡や土器・土偶といった文化財が評価されてきました。

長野県では黒曜石の鉱山(八ヶ岳)を背景にムラが造られ、交流を通じた造形美な土器や土偶が造られてきました。一方、山梨県では、採掘された黒曜石をブランド化し、物流の拠点として大きなムラが造られ、周辺地域の影響を受けながら独自に発達した優美な土器などが造られてきました。道具の材料としては、列島内で最大かつ良質な石材であり、黒曜石の交易ルートの発達と共に約五千年前に列島内で最も先進地域となりました。

展示では、山梨と長野県各地の日本遺産の構成文化財を比較しながら、「中部高地の縄文世界」の原像を探るとともに、いにしえから行われていた物流による交流の歴史的背景について考える機会としました。

特別巡回展『発掘された日本列島 2023』(山梨会場)

会 期： 9月16日(土)～10月29日(日) 開催日数41日

会 場：当館

入館者：5,404人

主 催：文化庁・山梨県立考古博物館全国新聞社事業協議会、山梨日日新聞社・対馬博物館

概 要： 平成7年度から開催され、今年度で29回目となります。マスコミを賑わせた全国各地の遺跡から発掘された最新の出土品とその成果をいち早く国民に成果を知っていただく全国規模の巡回展です。

展示資料について文化庁が監修したもので約500点を展示しています。展示では、埋蔵文化財の最新の調査成果に触れることにより、埋蔵文化財の保護・活用の意義の知識を深めると共に、地域の史跡を知り文化財保護と活用の両面に理解を深める機会とします。

(2) 企画展

① 春季企画展『御嶽昇仙峡国名勝指定100周年記念 クリスタルロード』

会 期： 4月15日(土)～ 6月11日(日) 開催日数51日

会 場：当館多目的室

入館者：5,328人

連携館：山梨ジュエリーミュージアム(研磨加工体験イベント)

概 要： 山梨の特産品である水晶利用の歴史をクローズアップし、旧石器・縄文時代の水晶加工遺跡や水晶製の石器をはじめ、古墳時代の装身具、現世標本に至るまでの3万年以上にわたる山梨の人々と水晶のかかわりを考古資料から

探っていきました。

- ② 令和5年度山の洲文化財交流展『発掘が語る地域交流-フォッサマグナがつなぐ新潟・長野・山梨・山梨・静岡』
会 期：12月 9日（土）～ 1月21日（日） 開催日数35日
会 場：当館多目的室
人 数：1,619人
概 要： 山の洲文化財交流事業の一環として、山梨・静岡・長野・新潟と合同で開催する交流展です。展示では、各県が誇るイチオシの文化財を巡回展示しながら、いにしえから多くの人や物が交流する交通の要衝として発展した様子を考古資料で紹介します。
- ③ 新年干支展『辰（タツ）』
会 期： 1月 2日（火）～ 1月28日（日） 開催日数20日
会 場：当館エントランスホール
人 数：991人
- ④ 『第21回わたしたちの研究室・研究成果展示会』
会 期： 2月10日（土）～ 3月 3日（日） 開催日数20日
会 場：当館多目的室
人 数：1,320人
- ⑤ 『富士山ミニ展示』
会 期： 2月 3日（土）～ 2月25日（日） 開催日数20日
会 場：当館エントランスホール
人 数：715人
- ⑥ 『風土記の丘望見展』
会 期： 2月23日（金）～ 3月31日（日） 開催日数34日
会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール
人 数：919人
- ⑦ 『山梨の遺跡発掘展2024』
会 期： 3月 9日（土）～ 4月 7日（日） 開催日数24日
会 場：当館多目的室
主 催：山梨県埋蔵文化財センター
人 数：1,427人

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「甲斐武田氏の終焉と天正壬午の戦い」をテーマに開催します。武田氏の興隆と終焉にとともに勃興した城を紹介しながら、最新の調査成果を踏まえ紹介する機会とします。

第1回12月10日（日） 「武田氏館跡の武田氏終焉前後」

甲府市教育委員会 鷹野 義郎 氏 参加者47人

- 第2回 12月16日(土) 「新府城跡と武田氏終焉前後」
 韮崎市教育委員会 関間 俊明 氏 参加者43人
- 第3回 1月13日(土) 「甲府城築城時期に関する再考察」
 東京外国語大学 吉田 ゆり子 氏 参加者55人
- 第4回 1月27日(土) 「天正壬午の乱前後の北杜市域」
 北杜市教育委員会 渡邊 泰彦 氏 参加者54人

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

山梨の縄文後・晩期の祭祀や土器などに見られる特色について紹介します。

- 第1回 6月 3日(土) 「縄文時代の交易と地域間交流-黒曜石・水晶・ヒスイ-」
 参加者96名
- 第2回 9月 2日(土) 「中部高地の土製耳飾り」
 参加者88名
- 第3回 12月 9日(土) 「金生遺跡と石棒儀礼」
 参加者106名
- 第4回 3月16日(土) 「富士山周辺の配石遺構」
 参加者76名

(3) 特別展記念講演会・座談会

第40回特別展『星降る中部高地の縄文世界ー黒曜石ネットワークによる物流と人流ー』の開催を記念して、特別展への理解を深めることを目的に、講演と討議を行いました。

- ・日 時 8月20日(日)
- ・場 所 風土記の丘研修センター(ネット同時配信)
- ・基調講演
 高橋館長(日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」の魅力)
- ・講演会
 大竹 幸恵 氏(日本考古学会副会長、長和町教育委員会)
 一部・黒曜石鉾山と人々の暮らし
 保坂 康夫 氏(身延山大学)
 二部・縄文時代の黒曜石の流通
 栗島 義明 氏(明治大学研究知財機構 特任教授)
 三部・装身具の流通から見た中部高地
 小野 正文 氏(元山梨県埋蔵文化財センター所長)
 四部・抽象文土器の展開
- ・座談会
 野代 幸和(学芸課長)コーディネーター

参加者:253名(当日参加者) YouTube 視聴者約3,000名

(4) 特別巡回展リモート講演会

特別巡回展『発掘された日本列島2023』への理解を深めることを目的に、講演会

を行いました。

- ・日 時 9月24日(土)
- ・講師 文化庁文化財第二課 大澤 正吾 調査官
- ・参加者 93名

(5) ものづくり教室～チャレンジ博物館～(風土記の丘研修センター)

- | | | | |
|------|-----------------|------------------------|----------|
| 第1回 | 4月9日(日) | 「縄文時代の石製耳飾りづくり」 | 参加者：41名 |
| 第2回 | 5月21日(日) | 「大きな勾玉の首飾りづくり」 | 参加者：44名 |
| 第3回 | 6月18日(日) | 「紙すきでうちわづくり」 | 参加者：39名 |
| 第4回 | 7月16日(日) | 「縄文のかごづくり」 | 参加者：49名 |
| 第5回 | 8月13日(日) | 「縄文と弥生の土笛づくり」 | 参加者：54名 |
| 第6回 | 9月17日(日) | 「江戸時代の藍染め」 | 参加者：49名 |
| 第7回 | 10月8日(日) | 「弥生時代の石包丁づくり」 | 参加者：44人 |
| 第8回 | 11月12日(日) | 「縄文風陶器づくり」 | 参加者：40人 |
| 第9回 | 12月3日(日) | 「干支の縄文土鈴づくり」 | 参加者：43人 |
| 第10回 | 1月14日(日)・28日(日) | 「縄文土器づくり」 | 参加者：112人 |
| 第11回 | 2月18日(日) | 「縄文時代のサメの歯形のペンダントづくり」 | 36人 |
| 第12回 | 3月10日(日) | 「青銅鏡風ミニチュア鏡のキーホルダーづくり」 | 32人 |

(6) ものづくり教室～原始古代の技に学ぶ～(風土記の丘研修センター)

- | | | | |
|-----|-----------------|-------------|---------|
| 第1回 | 4月22日(土)・23日(日) | 「トンボ玉作り」 | 参加者：12名 |
| 第2回 | 5月20日(土) | 「黒曜石で石器作り」 | 参加者：6名 |
| 第3回 | 6月17日(土) | 「縄文の編み物作り」 | 参加者：13名 |
| 第4回 | 7月15日(土) | 「石製ペンダント作り」 | 参加者：9名 |
| 第5回 | 8月19日(土)・20日(日) | 「縄文クッキー作り」 | 参加者：24名 |
| 第6回 | 9月2日(土) | 「染め物作り」 | 参加者：10名 |

第7回	10月28日(土)	「縄文風陶器作り」	参加者：11名
第8回	11月25日(土)	「干支土鈴「辰」と泥メンコ作り」	参加者：8名
第9回	1月6日(土)・13日(土)・28日(日)	「縄文土器作り」	参加者：51名
第10回	2月10日(土)・11日(日)	「青銅鏡形チョコレート作り」	参加者：51名
第11回	3月9日(土)	「青銅器作り」	参加者：9名

3 イベント

- (1) 第34回風土記の丘こどもまつり(公園管理者と共催)

5月3日(水・祝)・4日(木・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア
火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親
しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しました。
参加者：5,286名
- (2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント
 - ① 11月20日(月) 『県民の日イベント』
参加者：1,071名
 - ② 1月2日(月)・3日(火) 『お正月イベント』 参加者：153名
 - ③ 2月23日(金・祝) 『富士山の日関連イベント』
参加者：81名
 - ④ 3月3日(日) 『考古博物館 de 春まつり』
参加者：367名
- (3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園指定管理と共催)
 - ① 7月1日(土)～8月22日(火：旧暦の七夕)
『風土記の丘で七夕飾り』
参加者：145名
 - ② 7月1日(土)・2日(日) 『山梨の七夕人形を作ろう』
参加者：30名
 - ③ 9月2日(土) 『方形周溝墓で星を見る会』
参加者：39名
 - ④ 10月15日(日・祝) 『秋のふれあいまつり』(雨天中止)
 - ⑤ 10月29日(日) 『樹木と古墳のガイドツアー』
参加者：16名
 - ⑥ 11月23日(木・祝) 『落ち葉で焼きいも』
参加者：136名
 - ⑦ 1月8日(月・祝) 『古代米でもちつき』
参加者：190名
- (4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

日 時：7月17日（月・祝）

会 場：アイメッセ山梨

参加者：5, 455名

(5) 第21回わたしたちの研究室表彰式・発表会

日 時：2月10日（土）

会 場：考古博物館エントランスホール

参加者：78名

(6) 縄文王国山梨

特別展に合わせて連携イベントを実施。

日 時：7月30日（日）

会 場：考古博物館エントランスホール

参加者：215名

(7) 原始・古代の技術体験学習（風土記の丘研修センター事業）

団体向けと少人数向けにそれぞれ実施します。（1月末時点）

① 火起こし体験 参加者：3, 309名（無償）

② 勾玉作り 参加者：2, 285名（有償）など

(8) 埋蔵文化財センターによる資料出張展示

① マチナカ博物館による外部出張展示を実施。

藤村記念館 開催日：8月12・13日（土・日） 参加者：273名

史跡甲府城跡 開催日：9月17日（土） 参加者：100名

金精軒葎崎店 開催日：11月19日（土） 参加者：71名

② 出前授業等による外部貸出などを実施。

小中学校・高等学校・大学など

(9) 山の洲文化財交流展関連イベント

山の洲文化財交流展に伴いワークショップを実施（埋蔵文化財センター主催、考古博物館共催、静岡県スポーツ・文化観光部文化局文化財課、山梨大学教育学部、駿台甲府高等学校茶道部協力）。

日 時：12月17日（日）

会 場：考古博物館エントランス

参加者：156名

(10) 観光・地域活性化に向けた取り組み

① ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ！甲斐風土記の丘」

② 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化

③ 日本遺産 星降る中部高地の縄文世界との連携事業の実施

④ 山の洲交流事業による中部四県との文化財交流事業の実施

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

(1) 学芸員実習 7月27日（木）～8月6日（日）

東京学芸大学教育学部 1人

立命館大学文学部	1人
神奈川大学国際日本学部	1人
茨城大学人文社会学部	1人

(2) 職場体験 学校向け

5月18日(木)・19日(金)	小菅村立小菅中学校	1人
6月1日(木)・2日(金)	甲斐市立玉幡中学校	3人
7月25日(火)・26日(水)	甲府市立城南中学校	1人
8月8日(火)	甲府市立城南中学校	1人
8月17日(木)・18日(金)	甲府市立城南中学校	1人
7月25日(火)・26日(水)	甲府市立北東中学校	2人
	甲府市立上条中学校	3人
8月8日(火)	甲府市立上条中学校	1人
8月9日(水)	甲府市立上条中学校	1人
8月9日(水)・10日(木)	甲府市立北東中学校	2人
8月10日(木)	甲府市立上条中学校	1人
8月11日(金)・12日(土)	北杜市立甲陵中学校	1人
8月11日(金)	昭和町立押原中学校	2人
8月15日(火)・16日(水)	甲府市立北中学校	1人
	甲府市立南中学校	4人
8月16日(水)	昭和町立押原中学校	2人
8月17日(木)・18日(金)	北杜市立甲陵中学校	1人
	甲府市立富竹中学校	1人
	南アルプス市立橢形中学校	1人
8月19日(土)	昭和町立押原中学校	4人
8月22日(火)・23日(水)	甲府市立北東中学校	4人
8月23日(水)・24日(木)	甲府市立北東中学校	4人

(3) インターンシップ

9月30日(土)	山梨県立吉田高等学校	1人
----------	------------	----

5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。

主に学校、団体向けに貸出。

4月20日(木)～5月20日(土)	富士河口湖町立勝山小学校
5月19日(金)～6月19日(月)	県立特別支援学校うぐいすの杜学園
6月4日(日)～6月18日(日)	早川町立早川北小学校
9月22日(金)～11月28日(火)	中央市教育委員会
1月27日(土)～2月25日(日)	北杜市立明野中学校

6 ボランティアガイドの実施

学校見学、団体見学等において実施。

(2) 令和6年度 考古博物館予定事業について

1 展示活動

(1) 第41回特別展「縄文時代の不思議な道具展」

会 期： 9月28日(土)～11月24日(日) 開催日数52日

会 場：当館

概 要： 縄文時代にはミニチュアの土器や土製の石器、動物や植物の土製品など用途不明な不思議な道具が作られていました。これらは祈りやマツリのための道具、遊びの道具と考えられますが、その用途の多くはまだ解明されていないものがあります。縄文人が何を考え何に使おうとしたのか、モノの名前を付けるとしたらどんな名前がいいのか。縄文時代の子どもになったつもりで想像力をかきたたせ、縄文ファンタジーに誘うことをねらいとした企画展です。

(2) 企画展

① 春季企画展『重要文化財指定25周年記念 一の沢遺跡出土品展』

会 期： 4月20日(土)～6月16日(日) 開催日数51日

会 場：当館多目的室

入館者：5,686人

概 要： 笛吹市一の沢遺跡出土の重要文化財指定品全てを25年ぶりに全品を一斉公開します。修復後の全品公開は初となります。中部高地に栄えた縄文時代中期の井戸尻式文化の代表的な資料から山梨の縄文資料の魅力に迫ります。

② 夏季企画展『呪(まじな)いの世界展』

会 期： 7月13日(土)～9月1日(日) 開催日数45日

会 場：当館多目的室

入館者：7,027人

概 要： 呪(まじな)いという人々の祈りの世界を山梨県から発見された考古資料を通して紹介していきます。古来より自然災害や病気といった災いを克服していくために、人々はどんな道具を使ってきたのかを紹介していきます。

③ 新年干支展『巳(み)』

会 期： 1月2日(木)～1月26日(日) 開催日数17日

会 場：当館エントランスホール

④ 『第2回わたしたちの研究室・研究成果展示会』

会 期： 1月25日(土)～2月23日(日) 開催日数27日

会 場：当館多目的室

⑤ 『富士山ミニ展示』

会 期： 2月1日(土)～2月24日(日) 開催日数21日

会 場：当館エントランスホール

⑥ 『風土記の丘望見展』

会 期： 2月1日(土)～3月30日(日) 開催日数50日

会 場：風土記の丘研修センターエントランスホール

⑦ 『山梨の遺跡発掘展2025』

会 期： 3月 1日（土）～ 3月30日（日）

開催日数26日

会 場：当館多目的室

主 催：山梨県埋蔵文化財センター

2 学習会・講座など

(1) 考古学講座

今年度は「地域の魅力を考古学で語る」をテーマに開催しました。県内の研究者を招き、テーマ毎に地域の魅力を紹介する機会としました。全5回

第1回 6月15日（土）「いっちゃんとおたしー5千年後の運命の出会い」

講師：中山 誠二（南アルプス市ふるさと文化伝承館 館長）

参加者39名

第2回 6月29日（土）「水晶考古学の最前線」

講師：一之瀬 敬一（当館学芸員）

参加者46名

第3回 7月13日（土）「縄文時代のヒスイ利用を考える

ー主に中部高地の事例からー」

講師：林 亮太（釈迦堂遺跡博物館 学芸員）

参加者44名

第4回 7月27日（土）「弥生壺とおたし」

講師：鷹野 あきこ（山梨県埋蔵文化財センター 文化財主事）

参加者30名

第5回 8月24日（土）「愉しみを醸す土器」

講師：小澤 英幸（南アルプス市教育委員会 主任・文化財主事）

参加者48名

(2) 館長講座

高橋龍三郎館長による縄文時代研究の最前線をテーマとする講演会。縄文時代を専門とする館長が、最新の考古学の研究成果をわかりやすく解説します。

縄文時代に見られるマジカルな要素や特色について紹介します。

第1回 6月 2日（日） 「縄文時代の黒曜石採掘坑と世界の採掘坑」

参加者 75名

第2回 9月 1日（日） 「縄文時代の環状列石とストーンヘンジ」

参加者130名

第3回 12月 8日（日） 「縄文時代に戦争はあったか」

第4回 3月16日（日） 「パプアニューギニアの土器製作から見た縄文土器」

(3) 特別展記念講演会

第41回特別展『縄文時代の不思議な道具展』の開催を記念して、講演いただきます。

会期中に基調講演会と座談会を実施して、特別展への理解を深める。

会期中に3回を実施予定。

- ・場 所 風土記の丘研修センター（ネット同時配信）
- ・基調講演
高橋館長「縄文トーマムと動物形土製品」
- ・講演会
第1回 10月 6日（日） 中部大学講師 長田 友也
「中部高地の精神文化」
- 第2回 10月27日（日） 佐倉市文化課 学芸員 小倉 和重
「千葉県下の異形土製品」
- 第3回 11月24日（日） 当館 館長 高橋 龍三郎
「動物形土製品の社会的機能と役割ー氏族制社会からの照射ー」

(7) ものづくり教室～チャレンジ博物館～（風土記の丘研修センター）

- 第1回 4月28日（日）「古墳時代の勾玉の首飾づくり」
参加者53名
- 第2回 5月26日（日）「縄文時代の女神いっちゃんをつくろう」
参加者43名
- 第3回 6月 9日（日）「戦国時代の紙漉きでうちわづく参加者り」
34名
- 第4回 7月21日（日）「縄文と弥生の土笛づくり」
参加者34名
- 第5回 8月18日（日）「縄文時代の火起こし器を作って火を起こそう」
参加者48名
- 第6回 9月15日（日）「江戸時代の藍染め」
参加者49名
- 第7回 10月 6日（日）「弥生時代の石包丁づくり」 参加者34名
- 第8回 11月10日（日）「縄文時代の石製耳飾のペンダントづくり」
- 第9回 12月 8日（日）「縄文と干支の土鈴づくり」
- 第10回 1月12日（日）・2月2日（日）「縄文土器をつくって焼き上げよう」
- 第11回 2月16日（日）「縄文時代のかごづくり」
- 第12回 3月 2日（日）「縄文風陶器づくり」

(8) ものづくり教室 ～原始古代の技に学ぶ～（風土記の丘研修センター）

- 第1回 4月20日（土）・21日（日） 「トンボ玉作り」
参加者 4名
- 第2回 5月18日（土） 「縄文風陶器作り」
参加者12名
- 第3回 6月 8日（土）・15日（土） 「一の沢遺跡の土偶作り」
参加者11名
- 第4回 7月20日（土） 「草木染め体験」
参加者12名
- 第5回 8月24日（土） 「青銅器作り～ミニミニ銅鐸～」
参加者 8名
- 第6回 9月21日（土） 「網代編みのカゴ作り」
参加者15名
- 第7回 10月26日（土） 「干支（巳）の土鈴とミニチュア土

		器作り」	参加者 11名
第8回	11月16日(土)・17日(日)・12月7日(土)		
		「小形彩文土器作り」	
第9回	1月11日(土)・18日(土)・2月2日(日)		
		「縄文土器作り」	
第10回	2月8日(土)・9日(日)	「青銅鏡形チョコレート作り」	
第11回	3月8日(土)	「古代遺物の石けん作り」	

3 イベント

(1) 第35回風土記の丘こどもまつり(公園管理者と共催)

参加者: 4,874名

5月3日(金・祝)・4日(土・祝) 風土記の丘研修センターと周辺エリア
火起こし体験、狩猟体験や史跡ウォークラリーなど、考古学や風土記の丘に親
しんでもらうため、毎年5月の連休期間中に開催しました。

(2) 考古博物館エントランスホールでのミニイベント

- | | | |
|---|---------------|-----------------|
| ① | 11月20日(水) | 『県民の日イベント』 |
| ② | 1月2日(木)・3日(金) | 『お正月イベント』 |
| ③ | 2月23日(日・祝) | 『富士山の日関連イベント』 |
| ④ | 3月9日(日) | 『考古博物館 de 春まつり』 |

(3) 風土記の丘研修センターでのイベント(公園指定管理と共催)

- | | | | |
|---|-------------------|----------------|----------|
| ① | 6月29日(土)～8月10日(土) | 『風土記の丘で七夕飾り』 | 参加者 151名 |
| ② | 6月29日(土)・30日(日) | 『山梨の七夕人形を作ろう』 | 参加者 27名 |
| ③ | 9月7日(土) | 『方形周溝墓で星を見る会』 | 参加者 46名 |
| ④ | 10月13日(日) | 『秋のふれあいまつり』 | |
| ⑤ | 11月4日(日) | 『樹木と古墳のガイドツアー』 | |
| ⑥ | 11月23日(土) | 『落ち葉で焼きいも』 | |
| ⑦ | 1月13日(月・祝) | 『古代米でもちつき』 | |

(4) 「夏休み自由研究プロジェクト」への参加

アイメッセ山梨にて開催、参加 参加者約7,000人

(5) 第22回わたしたちの研究室表彰式・発表会

日時: 1月25日(土)

会場: 考古博物館エントランスホール

(6) 縄文王国山梨

特別展記念講演会配信を縄文王国山梨 YouTube チャンネルで実施

(7) 原始・古代の技術体験学習(風土記の丘研修センター事業)

団体向けと少人数向けにそれぞれ実施します。

① 火起こし体験 参加者 2, 632名

② 勾玉作り 参加者 1, 851名

(8) 埋蔵文化財センターによる縄文土器出張展示

① マチナカ博物館による外部出張展示を

(9) 観光・地域活性化に向けた取り組み

① ガイドアプリ「AR古代望見 よみがえれ！甲斐風土記の丘」

② 都市公園指定管理者とのイベント等連携強化

4 学芸員実習・職場体験・インターンシップ

(1) 学芸員実習 7月25日(木)～8月4日(日)

都留文科大学教養学部 1名

都留文科大学文学部 1名

(2) 職場体験 学校向け

7月23日(火)・24日(水) 甲府市立西中学校 2名

7月23日(火)・24日(水) 甲府市立南中学校 1名

7月23日(火)・24日(水) 甲府市立城南中学校 1名

8月 6日(火) 南アルプス市立甲西中学校 1名

8月 7日(水)・ 8日(木) 南アルプス市立若草中学校 1名

8月 7日(水)・ 8日(木) 甲府市立富竹中学校 1名

8月15日(木)・16日(金) 笛吹市立浅川中学校 1名

8月20日(火)・21日(水) 甲府市立北東中学校 4名

8月27日(火)・28日(水) 笛吹市立一宮中学校 1名

(3) インターンシップ

8月12日(月)・13日(火) 山梨県立甲府南高等学校 1名

5 古代衣装貸出事業

文化庁の補助事業で制作した弥生、古墳、飛鳥時代の体験用衣装。

主に学校、団体向けに貸出。

4月 4日(木)～ 5月 3日(金) 小出地区まちぢから協議会

4月30日(火)～ 5月24日(金) 富士見支援学校

6月29日(土)～ 7月27日(土) 富士河口湖町立大石小学校

8月 2日(金)～ 8月 6日(火) 山梨市ユネスコ協会

9月 3日(火)～10月 2日(水) 特別支援学校うぐいすの杜学園

6 ボランティアガイドの実施

学校見学、団体見学等において実施(9月末日現在)。

学校・一般団体

のべ34名

一般

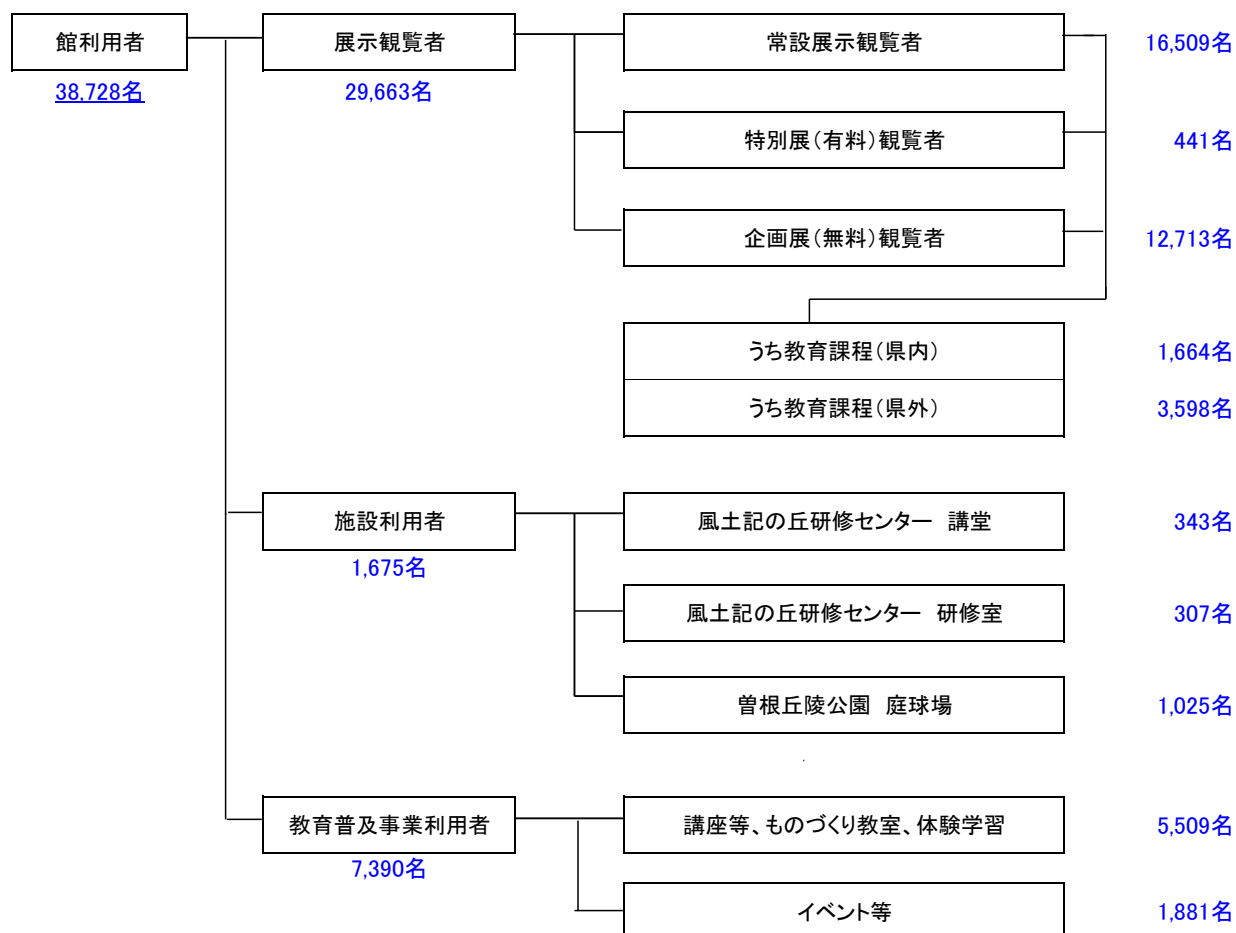
のべ28名

(3) 考古博物館の利用状況について

1 令和6年度 考古博物館における「利用者」の状況

※ 令和6年度9月末現在

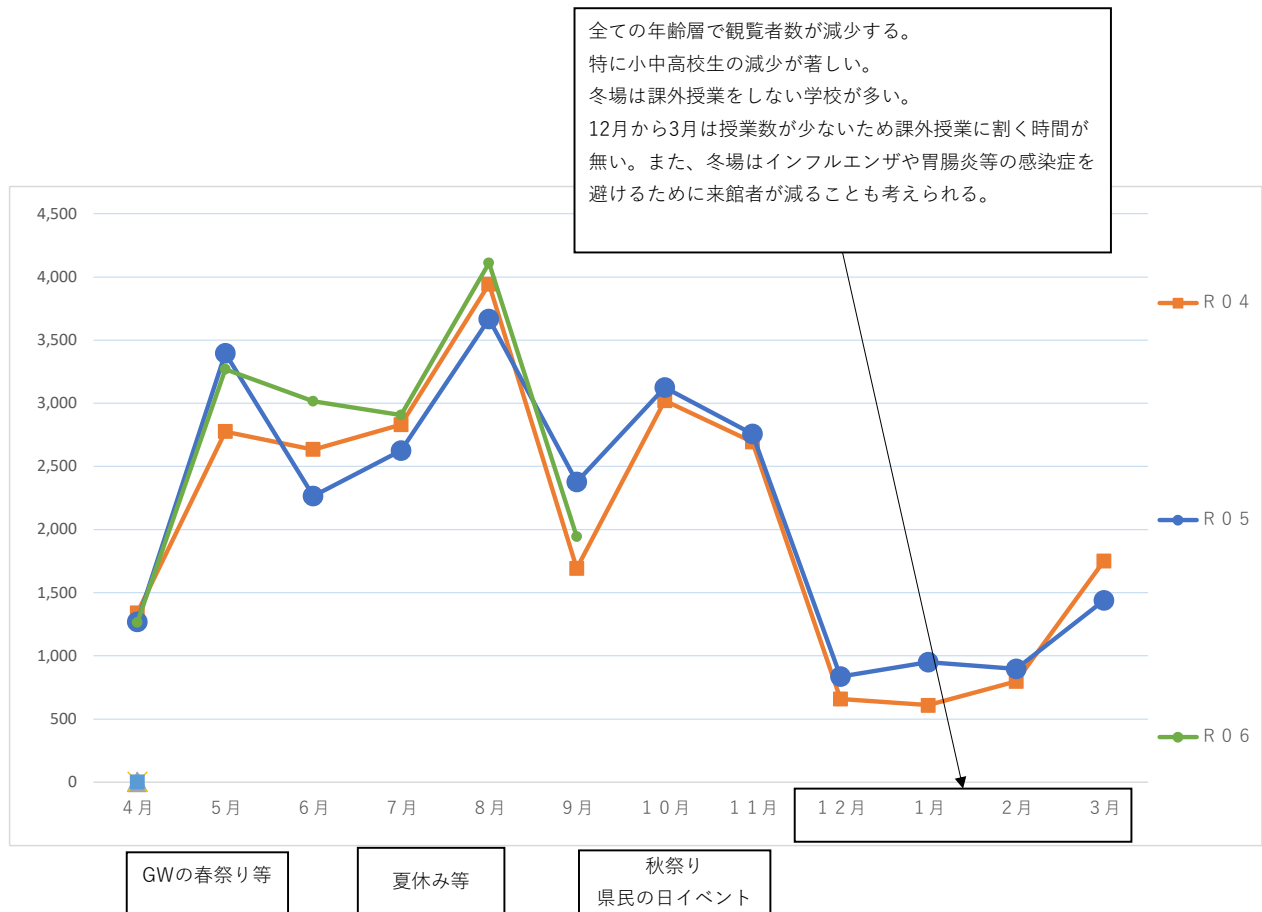
○ 考古博物館の利用者とは、考古博物館の施設、提供するサービスを利用した者および考古博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。



2 常設展観覧者数過年度比較

単位：人

常設展 観覧者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	9月末 まで	合計
R04	1,341	2,776	2,634	2,830	3,943	1,693	3,021	2,694	659	609	799	1,751	15,217	24,750
R05	1,270	3,396	2,266	2,625	3,666	2,376	3,124	2,756	835	949	896	1,438	15,599	25,597
R06	1,265	3,269	3,015	2,906	4,110	1,944							16,509	16,509



※R5年度は40周年特別展（7月～9月）、文化庁と共催の列島展（9月～10月）を実施した。

3 学校関係利用状況

令和6年9月末現在

県内＋県外 利用の状況	R6年度 (9月末)		R5年度 (3月末)		R4年度 (3月末)	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
施設利用 (常設展)	90件	5,126人	109件	5,496人	130件	7,034人
小学校	73件	4,021人	83件	3,877人	99件	4,748人
中学校	15件	473人	21件	942人	24件	1,294人
高校	2件	111人	5件	152人	3件	123人
その他 (児相など)	0件	0人	0件	0人	4件	184人
引率者	—	521人	—	525人	—	685人
職場体験	9件	13人	22件	42人	5件	9人
教材貸出 (古代衣装)	5件	—	9件	—	10件	—
合 計	104件	5,139人	140件	5,538人	145件	7,043人

3-1 学校関係利用状況

		人口	R6 (9月末)		R5		R4		
		R6.9	学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数	
国中	1	甲府市	186,092	15	504	14	669	17	690
	2	山梨市	31,971	0	0	5	264	1	26
	3	韭崎市	27,995	0	0	3	178	4	185
	4	南アルプス市	69,734	4	128	3	63	2	63
	5	北杜市	43,045	2	54	3	57	7	190
	6	甲斐市	75,817	1	161	10	433	5	270
	7	笛吹市	65,384	1	22	0	0	2	111
	8	甲州市	27,601	2	56	0	0	6	247
	9	中央市	30,847	6	251	7	334	4	205
	10	市川三郷町	13,671	4	31	5	56	10	220
	11	早川町	958	0	0	1	11	0	0
	12	身延町	9,263	2	18	2	63	2	34
	13	南部町	6,463	2	24	2	27	0	0
	14	富士川町	13,506	0	0	1	77	1	102
	15	昭和町	21,640	0	0	1	29	1	29
郡内	16	富士吉田市	44,756	0	0	1	17	0	0
	17	都留市	29,714	1	110	3	134	3	205
	18	大月市	20,646	0	0	0	0	2	71
	19	上野原市	21,287	0	0	1	23	0	0
	20	道志村	1,467	0	0	1	20	0	0
	21	西桂町	3,731	1	36	0	0	1	37
	22	忍野村	9,318	0	0	0	0	1	113
	23	山中湖村	5,190	1	10	2	32	2	31
	24	鳴沢村	2,764	0	0	0	0	0	0
	25	富士河口湖町	26,555	7	259	9	277	4	122
	26	小菅村	589	0	0	0	0	0	0
	27	丹波山村	485	0	0	0	0	1	8
県外	28	東京都		37	3,172	34	2,699	44	3,425
	29	静岡県		2	230	1	33	10	650
	30	長野県		0	0	0	0	0	0
	31	神奈川県		1	60	0	0	0	0
合計			89	5,126	109	5,496	130	7,034	

(参考) 県内利用者のうち国中・郡内比率

		人口	R6 (9月末)		R5		R4	
			学校数	人数	学校数	人数	学校数	人数
国中地域		623,987	39	1,249	57	2,261	62	2,372
		(79%)	(80%)	(75%)	(77%)	(82%)	(82%)	(80%)
郡内地域		166,502	10	415	17	503	14	587
		(21%)	(20%)	(25%)	(23%)	(18%)	(18%)	(20%)
県外			40	3,462	35	2,732	54	4,075
合計		790,489	89	5,126	109	5,496	130	7,034

4 外国人利用者数

令和4年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	5	0	2	15	1	23	山梨の遺跡展 ~4/10 春季企画展 4/16~6/12
7月~9月	13	8	7	16	0	44	山の洲文化財交流展 7/16から8/28 特別展開催(甲斐の勇者)9/28~
10月~12月	20	1	4	14	0	39	特別展開催 ~11/23 冬季企画展 12/10~
1月~3月	17	3	8	7	0	35	冬季企画展 ~1/22 わたしたちの研究室 2/11~3/5 山梨の遺跡展
合計	55	12	21	52	1	141	中国37.9% 韓国9.5% アジア12.0% 欧米39.6% 他1.0%

令和5年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	13	0	11	22	19	65	山梨の遺跡展 ~4/9 春季企画展 4/15~6/11
7月~9月	18	4	7	21	1	51	特別展開催(山梨の縄文世界)7/8~9/3 特別巡回展開催(発掘された日本列島)9/16~
10月~12月	30	2	4	25	4	65	特別巡回展開催(発掘された日本列島)~10/29 山の洲文化財交流展12/9~
1月~3月	31	0	4	21	6	62	山の洲文化財交流展~1/21 わたしたちの研究室 2/10~3/3 山梨の遺跡展 3/9~
合計	92	6	26	89	30	243	中国37.9% 韓国2.5% アジア10.7% 欧米36.6% 他12.3%

令和6年度	中国	韓国	東南 アジア	欧米	その他	合計	備考
4月から6月	14	5	2	24	0	45	山梨の遺跡展 ~4/7 春季企画展 4/20~6/16
7月~9月	30	3	5	13	5	56	夏季企画展 7/13~9/1 特別展(縄文時代の不思議な道具)9/28~
10月~12月						0	特別展(縄文時代の不思議な道具)~11/24
1月~3月						0	わたしたちの研究室 1/25~2/23 山梨の遺跡展 3/1~
合計	44	8	7	37	5	101	中国37.9% 韓国2.5% アジア10.7% 欧米36.6% 他12.3%

・令和6年度の外国人利用者数は、昨年度と同程度の水準

山梨県附属機関の設置に関する条例(抜粋)

(趣旨)

第1条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法第138条の4第3項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

(附属機関の設置及び担当事務)

第2条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

別表第一 知事の附属機関(簡略)

山梨県立美術館協議会
山梨県考古博物館協議会
山梨県地方産業教育審議会
山梨県文学館協議会

(組織)

第4条 附属機関は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第1、別表第2及び別表第3の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

(会長等)

第5条 附属機関に、規則で定めるところにより、会長又は委員長(以下「会長」と総称する。)及び副会長又は副委員長(以下「副会長」と総称する。)を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあっては、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、規則で定める場合を除くほか、委員の2分の1以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1(第2条、第4条関係)

2 知事の附属機関

附属機関	山梨県考古博物館協議会
担当事務	博物館法第20条第2項の規定による山梨県立考古博物館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務
委員の定数	15人以内
委員の要件	1 学校教育の関係者 2 社会教育の関係者 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者 4 学識経験のある者
委員の任期	2年

山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則(抜粋)

(趣旨)

第1条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠委員の任期)

第3条 委員に欠員を生じた場合における補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 条例第5条第1項の規定により、附属機関に会長及び副会長一人を置く。

(定足数の特例)

第5条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
定足数	過半数

(定例会及び臨時会)

第12条 次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議は、定例会及び臨時会とし、定例会の開催回数は、同表の開催回数欄に掲げるとおりとする。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
開催回数	年2回

2 前項に規定する臨時会は、必要に応じて開催する。

(庶務)

第13条 附属機関の庶務は、次の表の所属欄に掲げる所属において処理する。

附属機関	山梨県考古博物館協議会
所属	考古博物館

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

※ 参考

博物館法(抜粋)

(博物館協議会)

第20条 公立博物館に博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

山梨県考古博物館協議会運営要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、博物館法第20条、山梨県附属機関の設置に関する条例（以下「条例」という。）及び山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（以下「規則」という。）に定める山梨県考古博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 協議会は、山梨県立考古博物館（以下「館」という。）の運営に関し、館長の諮問に応じ、中・長期的な課題等について調査・審議するとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

(組織)

第3条 協議会を構成する委員は、条例第4条別表第1の定めに従い15人以内とする。

2 前項15人のうち2人は公募委員とし、公募委員選考委員会要領により開催される公募委員選考委員会で選考する。

3 協議会を構成する委員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学校教育の関係者
- (2) 社会教育の関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験のある者
- (5) 観光分野の関係者

(委員の任期等)

第4条 委員の任期は2年とする。ただし、委員の辞職等により新たに委員を補充したときは、その委員の任期は前委員の残任期間とする。

2 委員の再任は妨げないが、原則一度限りとする。ただし、協議会の所掌事務に関し特に専門的な知識経験等を有する者又は協議会の所掌事務に密接な関連を有する団体を代表する者が当該委員以外に得難い等特別の事情がある場合は、この限りではない。

(会長等)

第5条 規則第4条の規定により、協議会に会長及び副会長1人を置く。

2 会長及び副会長は委員の互選によりこれを定める。

3 会長及び副会長の任期は、2年とする。

4 会長及び副会長の再任は、妨げないものとする。

5 会長は会務を総理し、協議会を代表する。

6 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

7 会長及び副会長は事務局が作成する議事録を確認し、必要に応じ修正等の指示を行うものとする。

(会議)

第6条 協議会は会長が招集し、会長が議長となる。

2 協議会は、必要に応じて書面またはオンラインによる開催とすることができる。

3 協議会は、毎年2回開催する。ただし、会長が必要と認めるときは、この限りではない。

4 協議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

5 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(傍聴)

第7条 協議会は、会長の許可を得た者が傍聴することができる。

2 協議会の傍聴に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(議事録)

第8条 協議会の議事録はこれを作成し、公開する。

(事務局)

第9条 協議会の事務局は、館に置く。

2 事務局に、事務局長及び事務局員若干名を置く。

3 事務局長は、館長をもって充てる。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、本協議会の運営等に関して必要な事項は、会長がこれを定める。

附 則

この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。